



Stellar theater 13 years anniversary. I want to be in love with music all the time

STELLAR THEATER NEWS

音楽を心から楽しむスペースとして河口湖ステラシアター14年。河口湖ステラシアター通信1月号

河口湖円形ホール 公演のご案内

11/22

午後4時開場 / 午後5時開演

河口湖円形ホール世界の音楽&アートめぐり2008「イタリア」
オープニングコンサート

世界中から愛される名作「ピノッキオ」と出会う

ファンタジーコンサート

「ピノッキオ」とはいたずら者の木の人形・ピノッキオが、悪の道に引きずりこまれそうになりながらも、ジェベットおじさんの愛により人間の心に目覚めるといのお話です。

今もなお、世界中で愛され続ける「ピノッキオの冒険」は1881年、イタリアの作家コッローディによって描かれたものです。日本でも多くのファンを持つ童話「ピノッキオ」はイタリアの絵画、映画、音楽の中にもしばしば題材として取り上げられ、現代のイタリア人文化や生活に深くかかわっています。イタリアでピノッキオが生まれた理由や、なぜ現代も「ピノッキオの冒険」が愛され続けるのか？というお話と、古典から現代までの、イタリア音楽作曲家の作品を楽しんでいただけます。どうぞお楽しみに！



ギター:フランチェスコ・テオピーニ
ヴァイオリン:アンドレア・コルテースイ
ピアノ:末高明美

《プログラム》

- ・映画ルイーゼ・コメンチーニ 『ピノッキオの冒険』より / Fテオピーニ
- ・『5つの木くず』 / Tバットιστα (「ピノッキオの冒険」をテーマにした曲)
- ・愛の悲しみ / クライスラー
- ・「星に願いを」 / リー・ハーライン 他イタリア古典の名曲集

《チケット》 好評発売中

全席自由 【一般】3,000円 【高校生以下】1,500円(ドリンクお菓子付)

【プレ企画】午後4時20分～午後4時50分

元星美学園短期大学助教授、
イタリア ブーリア州出身

マリア・コスタ女史によるお話会 『ピノッキオの過去と現在』

ピノッキオの物語についてユーモアも交え
お話します。

円形ホールを無料開放してイタリアの写真展を開催!!

この機会に円形ホールをお楽しみ下さい。
どなたでもご入場できます。

河口湖円形ホール世界の音楽&アートめぐり2008「イタリア」
イタリア人写真家アンドレア・グイダッチ プロデュース

写真展『L'arte del quotidiano 日常のアート(芸術)』

イタリアに生まれ、育ち、そして今、何気ない日常のイタリアにスポットをあて写真を撮り、新たな文化を作る若き写真家アンドレア・グイダッチ。彼の視点から日常のイタリアを紹介する今回の写真展は、あなたにイタリアの魅力を存分に味わっていただけることでしょう。

開館日:右記カレンダーを参照下さい。

は午前9時30分～午後4時30分まで。 は午前9時30分～午後1時まで。

11月22日(土)はオープニングコンサート、12月20日(土)はクローズングコンサート開催。

11月

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

12/20

午後4時30分開場 / 午後5時開演

河口湖円形ホール世界の音楽&アートめぐり2008「イタリア」クロージングコンサート
 ~ フィレンツェの風 ~ ピアノ: 熱田公紀

久根崎 公子 イタリアンポップス クリスマスライブ

《プログラム》

【第 部】 イタリアンポップス黄金時代と呼ばれる60年代~70年代に活躍した3大
 プリマドンナ(ミーナ、オルネッタ・ヴァノーニ、ミルヴァ)のヒット曲をお届け。

【第 部】 同じく60年代~70年代に、日本で流行したイタリアンポップスや
 おなじみのクリスマスソングを予定。

《チケット》 好評発売中

全席自由 【一般】3,000円 【高校生以下】1,500円(ドリンクお菓子付)

久根崎 公子 (くねざきみこ)

金融機関での仕事の傍ら、村上進氏に師事。シャンソニエ「銀巴里」等出演。
 '96年からイタリアでコンサート、CD作成活動開始。イタリア・ソニーより全国発売シングルCD「橋 KUNE」他、現地制作・録音アルバム6枚。'03フィレンツェのオペラ団体のオーディションに合格後、トスカナ各地公演参加で総合芸術オペラの経験を積む。
 '07年よりオペラ音楽と日本歌曲を組み合わせた公演を企画・制作・演出・出演。イタリアにおける日本文化と音楽の紹介にも努める。

11/11

午後6時30分開場 / 午後7時開演

河口湖円形ホール ウィーンの香り2008
 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

トーマス・ヴィンクラット ヴァイオリンリサイタル

《チケット》 全席自由 3,000円

《曲目》無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第 番 ト短調 / バッハ
 アンダルシアのロマンス / サラサーテ 他

都合により曲目が一部変更になる場合がございます。ご了承ください。
 未就学児のご入場はご遠慮願います。



ピアノ: 中島 剛

11/23

午後3時30分開場 / 午後4時開演

河口湖円形ホールバロックシリーズ2008 vol.1

ゆうやけ・みずうみ コンサート

バロック音楽の楽しみ~「声」の魅力~
 チェンバロ・お話: 大塚直哉

《チケット》全席自由 2,500円

《曲目》オルフェオより / モンテヴェルディ、
 デュエット / ハンデル

未就学児のご入場はご遠慮願います。



めずらしい楽器が
 たくさん!
 一緒に演奏もできます。

11/24

午後12時30分開場 / 午後1時開演

河口湖円形ホールバロックシリーズ2008 vol.2

子どものための おしゃべり音楽会

~バロック音楽と出会おう~
 チェンバロ・お話: 大塚直哉

【午後1時~午後1時45分】
 ヴォーカルアンサンブルによる日本のうた、世界のうた

【午後2時~午後4時】
 古い時代の楽器たち

《チケット》全席自由 一般 1,000円、高校生以下 500円

3歳以下のお子様もご入場できます。ただし、4歳以上は有料です。

自然の香りが響きわたる

優しい音が湖風に舞う

河口湖ステラシアター & 河口湖円形ホール

<http://www.stellartheater.jp/>

このページについてのお問合せは、河口湖ステラシアター 72-5588までどうぞ

富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



2008年のホタル・オオムラサキ賞決まる

- 町長賞に湖南中・小林実生さん -

今年は応募総数172作品と昨年の3倍以上に増えました。小学校からの応募総数は変わらなかったものの、力作が多く2年連続で応募してくれた人も何人もいました。中学校からは、145作品も応募してもらい、選ぶのに大変苦労しましたが、以下を入賞・入選とさせていただきました。

町長賞:湖南中2年 小林実生(作文)、議長賞:勝山中2年 流石夏歩(ポスター)
教育長賞:湖南中1年 古屋柚育(写真)、室長賞:船津小2年 堀内光次郎(自由研究)
ホタル賞:小立小4年 野澤歩生(ポスター)、湖南中1年 芳賀駿汰(自由研究)
オオムラサキ賞:船津小3年有本秀明・1年有本秀文(共同研究)、湖南中2年 桑原有希(写真)
優秀賞:大石小1名、小立小8名、船津小3名、勝山中3名、湖南中28名

小林実生さんの作文は、雑木林から未来の富士山とその周辺の自然を考えたもので、これからは地球温暖化も含めた広い視野から、大人が見本を示しつつ自然を守って行くことの大切さを訴えた傑作です。流石夏歩さんのポスターは、ミヤマシジミとその幼虫が食べるコマツナギを、富士山とすそ野の草原をバックに精細に描いたもので、「守る」という言葉がすべてを訴えかけています。古屋柚育さんの作品は、シジュウカラの7羽のひなが一斉に口を開けてエサをねだっている瞬間、クモがムシを糸にからめてエサにした瞬間、スジグロシロチョウが花の蜜を吸っている瞬間を見事にとらえた写真の3点セットです。堀内光次郎さんの自由研究は、アリを飼って観察したもので、1週間の飼育中と放した後のアリの様子が、2年生らしい素直な見方でまとめられた作品です。野澤歩生さんのポスターは、ホタルの一生で水辺の自然の大切さを訴えたもので、ていねいさと大胆さをあわせもつ作品です。芳賀駿汰さんの自由研究は、河口湖を一周して湖畔の11ヶ所で水質検査をしたもので、河口湖全体にリンは少なく、ややアルカリ性になりつつあるようすをうかがわせる結果となりました。有本秀明・秀文兄弟の共同研究は、ザリガニにいろいろなエサを与えたり、墨をつかってエラ呼吸を調べたり、周りの色で体の色が変わるかを調べたりと、仲良く頑張ったようすがうかがえました。桑原有希さんの写真は、モンキチョウの白色型のメスの前を、黄色型のメス?が飛んでいるところを見事にとらえた作品です。

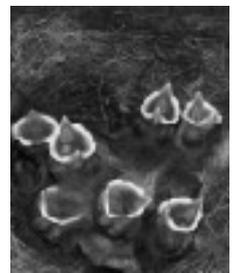
これまでホタル・オオムラサキ賞に応募してくれた人たちの中から、将来の富士山を中心とした日本の、そして世界の自然保護の現場で活躍する人が出てくれたらなど夢見ています。

なお、町長賞から室長賞までの4名は11月3日の町の文化祭式典で、その他は各学校を通じて表彰され、入賞の8作品は、文化祭で展示後1年間河口湖フィールドセンターに展示されます。

ショート・ニュース

- ・10月上旬に河口湖フィールドセンター研修室の屋根に近い壁に、こどものアブラコウモリ?が潜り込んだり、出てきて周りを飛んだりしていました。河口湖フィールドセンター3種類目のコウモリです。
- ・11月7日から長崎国際大学で開催される野生生物保護学会で、「絶滅危惧 類シルビアシジミの幼虫行動に関する若干の生態的知見」と題して発表する予定です。

ご意見・ご質問は、TEL 0555- 72- 4331 (FAX 72- 4341) 河口湖フィールドセンターまで



富士河口湖町 女性団体研修レポート

日野市 環境情報センターに学ぶ

富士河口湖町女性交流センター みずうみ通信

富士河口湖町女性交流センター

県外研修エンパワーメント

女性団体連絡協議会では、快晴の10月9日、恒例の県外研修を実施しました。

研修地は、環境保全推進の地として全国から注目されている日野市「環境情報センター」。この日、八十名の会員が一挙訪れましたが、快く受け入れていただき、詳細に活動状況を学ぶことができました。

研修後、役員や会員から次のレポートが寄せられましたので紹介します。



真剣に聴講し、質問する会員たち

「青木センター長・小野寺市民会議 副代表の講和から」

日野市民の発案、要望により「環境基本計画」が推進され、市条例となり、市民と行政が一体となつて、日野の自然・くらし・環境を守るため協働して活動しませんか。」を合言葉に、やがて、日野市環境市民会議が設立された。



住民が行政を動かしたパワーに感動した。さらに、市民会議の主役が女性住民ということに驚いた。夫が仕事や勤務のため外で働く中で、妻たちが環境を守る運動に積極的に立ち上がり、行動した勇氣と熱意に感動し、意識啓発された。なお、「日野市のよりよい環境を子どもたちに残したい」という市民の言葉が、私たちの心にしみた。

「日野市の環境保全推進の歩み」

古くは徳川幕府の直轄地で、江戸に食糧を供給する地であった日野市は、のどかな農村だった。しかし、昭和35年に団地が建設され、公団のはしりとして、日野市となった。

当時は三、四万の人口が、東京オリンピックの頃、急激に人口が増加、やがて多摩丘陵へと団地が増え続け、それと同時に、環境問題は危機的状況となった。この時に、女性たちが立ち上がった。住民に呼びかけ市民会議が結成され、大きい協働の力が生まれた。

一九九四年、環境基本条例の直接請求を市当局に提出する一方、署名集め、ピラ配り等で市民運動は広がっていった。青木館長は、小さな気づきから始まった女性パワーの活動を強調されていた。かくして、環境保護改良運動が政治を動かし、二〇〇五年、環境情報センター「かわせみ館」が開設されたこのことです。

「センターかわせみ館の見学」

館内へ案内されて、展示された情報の数々に目を見瞠った。清流にすむ魚、昆虫標本、エコに関する情報、消費者生活のニュース、近隣大学の研究資料、市民ボランティア活動の様子等々、見学者にもいきいきと理解できる。

地域全域が目覚めた環境保全への取り組みが営々と続く日野市を訪れ、学び、感動し、意識啓発された一日であった。

